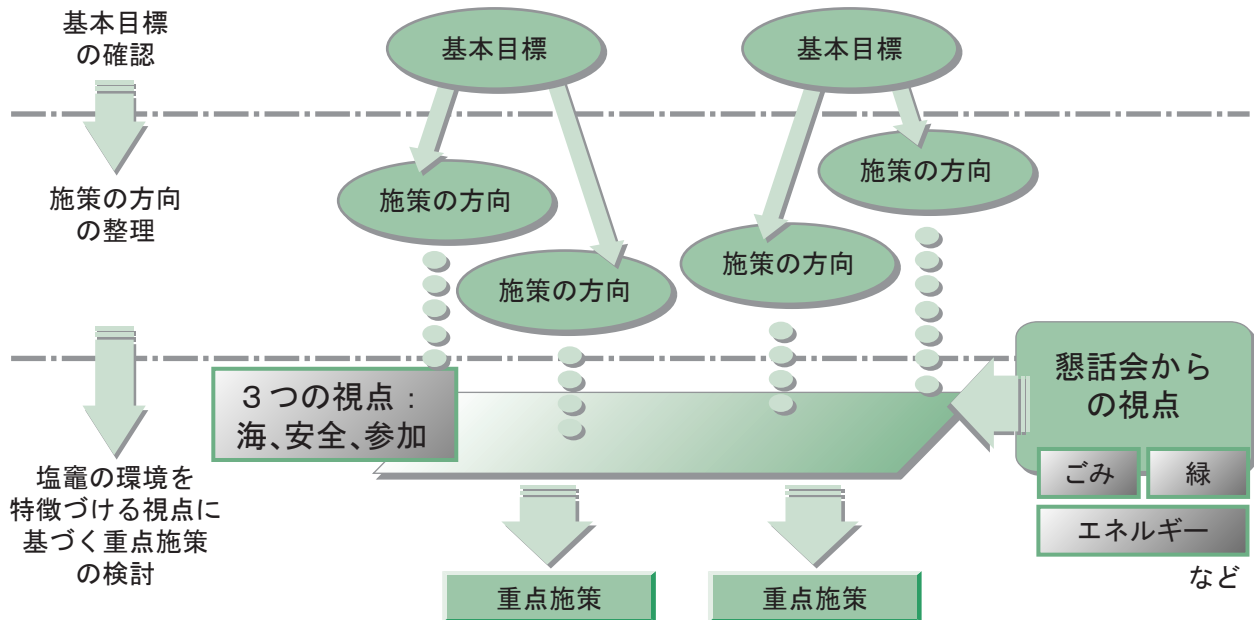
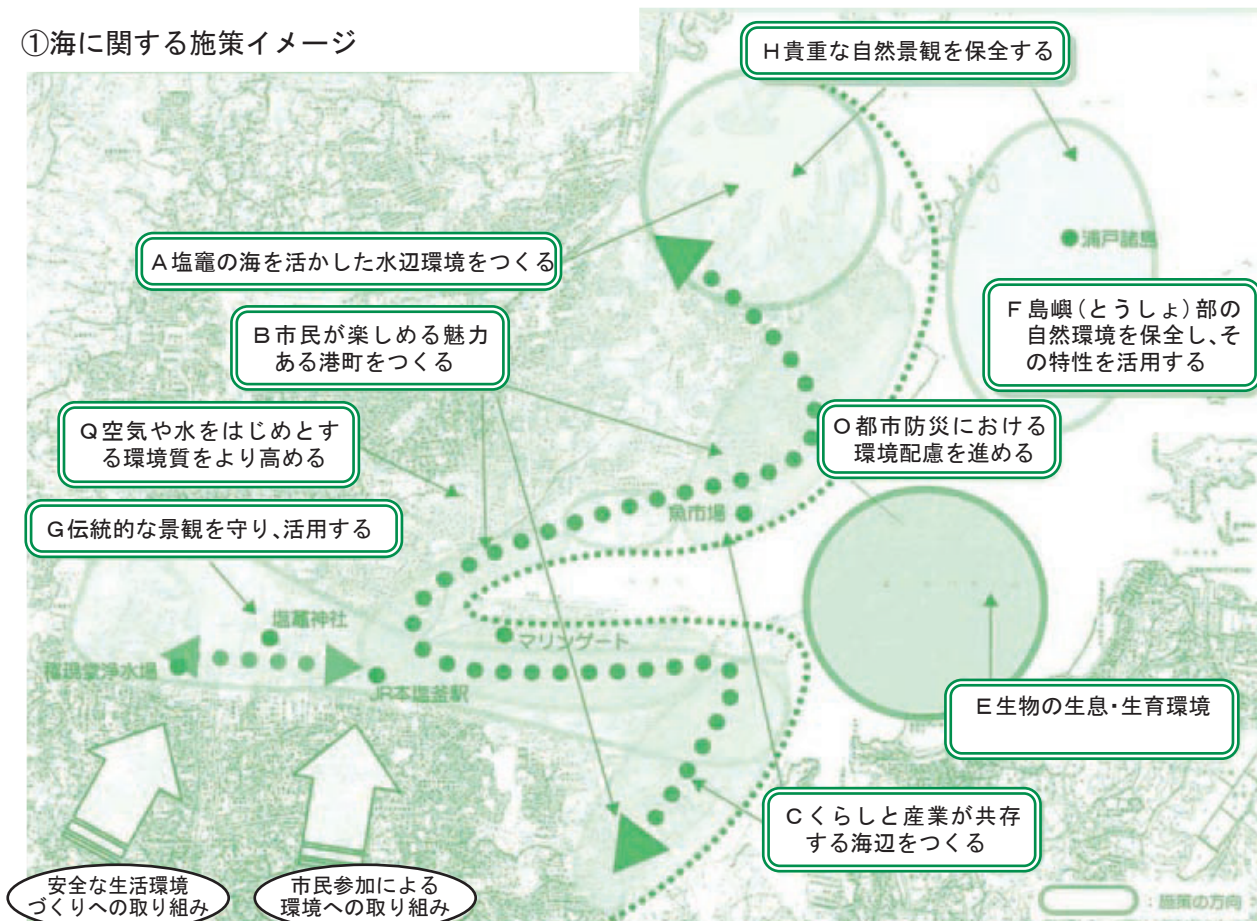


(4) ワーキンググループ検討の流れ

ワーキンググループの検討では、はじめに塩竈の環境を特徴づけるものとして「海」「安全」「参加」の3つの視点があげられました。そして、これらの視点に基づいて基本目標の整理、施策の方向の分類を行い、視点別のイメージ図を作成して重点施策の抽出を行いました。



①海に関する施策イメージ

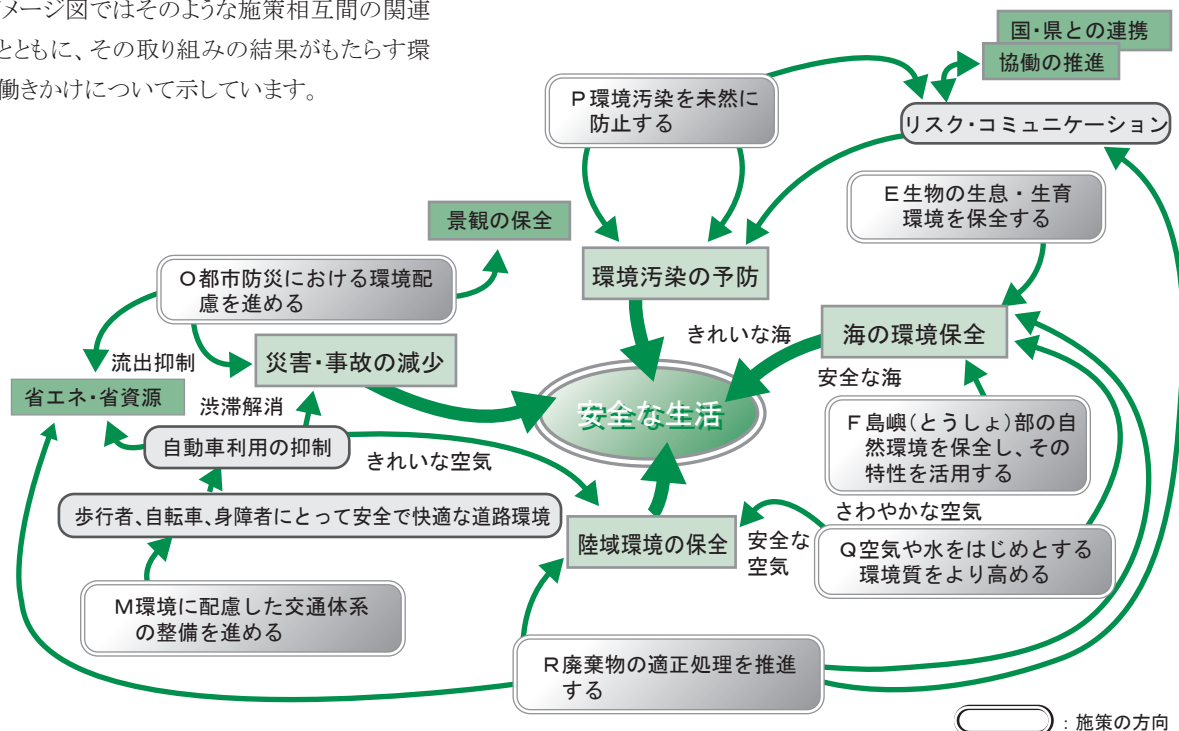


②安全に関する施策イメージ

自然環境を保全するための施策が生活の安全を確保したり、安全のための交通基盤の整備が環境の保全につながっていたりと、環境で扱う施策は相互に関連しています。

そしてそれらの取り組みは、安全な生活の実現だけでなく景観の向上やエネルギー問題などにも関連していきます。

このイメージ図ではそのような施策相互間の関連を示すとともに、その取り組みの結果がもたらす環境への働きかけについて示しています。



③参加に関する施策イメージ

ここでいう「参加」とは、市民参加を指すだけではなく、市民・事業者・市が、それぞれの参加のプロセスを経て、三者が協力しながら環境保全に取り組む、協働のしくみと姿勢を築いていくことを目的としています。

このイメージ図は、三者の参加のプロセスを示すとともに、それぞれのプロセスを踏んでいく上で必要となる施策を示しています。

